令和７年度　長野県諏訪清陵高等学校評価表

48清陵

学校教育目標	～時代を逞しく切り拓く創造性豊かな人間を育てていく～ ①　個性・能力の伸長 ②　自分で考え、積極的に発信できる高いコミュニケーション力 ③　孟子「自反」の気概を備え、社会で活躍できるリーダーの育成 ④　ＳＳＨを軸に据え、論理的で科学的な思考力を育むことにより探究力を育成
今年度重点目標	◎生徒が課題発見力を育みながら、主体的・対話的で深い学びを実践する授業の追求 ○生徒おのおのの進路実現を見据えた学習指導、キャリア教育・課題研究指導の充実 ○生徒の相談支援体制の充実拡大と、いじめや体罰、不登校、学校不適応の未然防止 ○地域に開かれた学校づくりと社会に開かれた教育課程の実現

教育目標	取組	評価の観点	担当分掌
生徒が課題発見力を育みながら、主体的・対話的で深い学びを実践する授業の追求	①授業やテストにおいて、情報分析から課題発見を促すような発問や、答えが一つではない発問を多くし、考察、発表、討論するような機会を多く設ける。	①授業アンケートにおいて、評価項目「2. 興味関心の深まり」および「3. 自ら学ぶ力の向上」の好意的評価が得られたか。	進路指導係
	②学校設定科目「課題研究基礎」、「課題研究」、SSH諸活動および教科の授業全般において、生徒が自ら課題を発見し，論理的・科学的視点から主体的に探究できる環境を整える。	②「課題研究」において、実験やフィールドワーク等で得たデータを論理的・科学的視点視点に基づき考察することで、ポスター発表・論文などを質的に向上させることができたか。	SSH係
	③自ら考えて課題を見つけ出し改善していくクラブ活動・学友会活動を実現させるために顧問が機会を捉えて助言や指導をする。	③学友会活動、クラブ活動に自ら積極的に係ることで、生徒が自身の満足度を高めることができたか。	学友会係
生徒おのおのの進路実現を見据えた学習指導、キャリア教育・課題研究指導の充実	①社会的・職業的に自立した人間の育成を目指し、合同HR、講演会等により、進路意識の向上を図る。また、進路研究への支援を行い、キャリア教育を推進する。	①講演会等実施後のアンケートにおいて、好意的評価が得られたか。	進路指導係
	②実力テスト、定期考査、校内模試、校外模試の分析をもとに、毎日の家庭学習、補習、テスト前後の学習の質と量の充実を図る。	②各種テスト後の分析結果に基づき、各生徒の弱点を補うような指導をすることができたか。	進路指導係
	③探求的取組の実践において学力の3要素を育成するとともに、生徒の進路選択につながる大学，企業連携プログラムを実施する。	③SSH事業を通して，生徒が将来を見据え主体的に進路選択を行い実現することができたか。	SSH係
生徒の相談支援体制の充実拡大と、いじめや体罰、不登校、学校不適応の未然防止	①生徒の立場に立って、心身の状態を深く洞察しつつ、成長を支援するための指導を行う。	①生徒の相談に十分に対応することで、不登校生徒数を減少させることができたか。	生徒支援係
	②社会的マナーの向上や学校生活における全般的なモラルの向上を図る。	②問題行動件数、自転車事故件数を減少させることができたか。	生徒支援係
	③いじめを絶対に許さない校風を維持する。	③いじめ防止のために、機会を捉えた指導をすることで、いじめ件数をゼロとすることができたか。	生徒支援係
		④いじめの早期発見につながる相談体制を十分に機能させることで、いじめの早期解決を図ることができたか。	生徒支援係
地域に開かれた学校づくりと社会に開かれた教育課程の実現	①教育活動を直接見学して学校への理解を深める機会を設ける。	①授業公開、学校説明会、清陵祭、課題研究発表会に多くの参加が得られたか。また、これらの行事をとおして、学校への意見を募ることができたか。	教務係
	②ホームページや広報物を活用し、学校の情報を広く発信していく。	②ホームページを頻繁に更新することができたか。学校案内パンフレットやホームページをとおして中学生や地域に学校の取組を伝えることができたか。	教務係
	③外部機関と連携し教育活動の範囲を広げていく。	③授業、SSH、進路指導、学友会、部活動等で外部機関と連携した活動を推進できたか。	教務係 SSH係 進路指導係 学友会係